

IE11サポート終了に伴う WinActorの対応について

2021年7月21日

日頃より、弊社製品「WinActor」をご愛顧いただき誠にありがとうございます

マイクロソフト社より、Windows10におけるIE11デスクトップアプリケーションのサポートを2022年6月15日に終了する、と発表があり、WinActorからIE11を操作するシナリオをご利用のお客様に影響が出ることが懸念されます。弊社では、ユーザーの皆様が、やむを得ずIE11の利用を継続しなければならない間はその操作を可能にするよう、準備を進めております。

NTTアドバンステクノロジーは、お客様が今後も安心してWinActorをご利用いただけますよう、万全を期してまいります。

IE11に何が起きるのか?/ どのような影響があるのか? WinActor[®]

Microsoft社は、「Windows10におけるIE11デスクトップアプリケーションのサポートを2022年6月15日に終了する」と発表しました。

Windows10でIE11が使いなくなります！！

パターン1:

IE11を用いて、IE向けWebサービス进行操作しているお客様（社内システム等で多いと思われる）は、
Webサービスの改修を行わない限りシステムが使いなくなります。

パターン2:

IE11を用いて、汎用Webサービス进行操作しているお客様は、他のブラウザに乗り換える事が可能ですが、
IE操作ライブラリを他のブラウザ向けに書き換える必要があります。

パターン3:

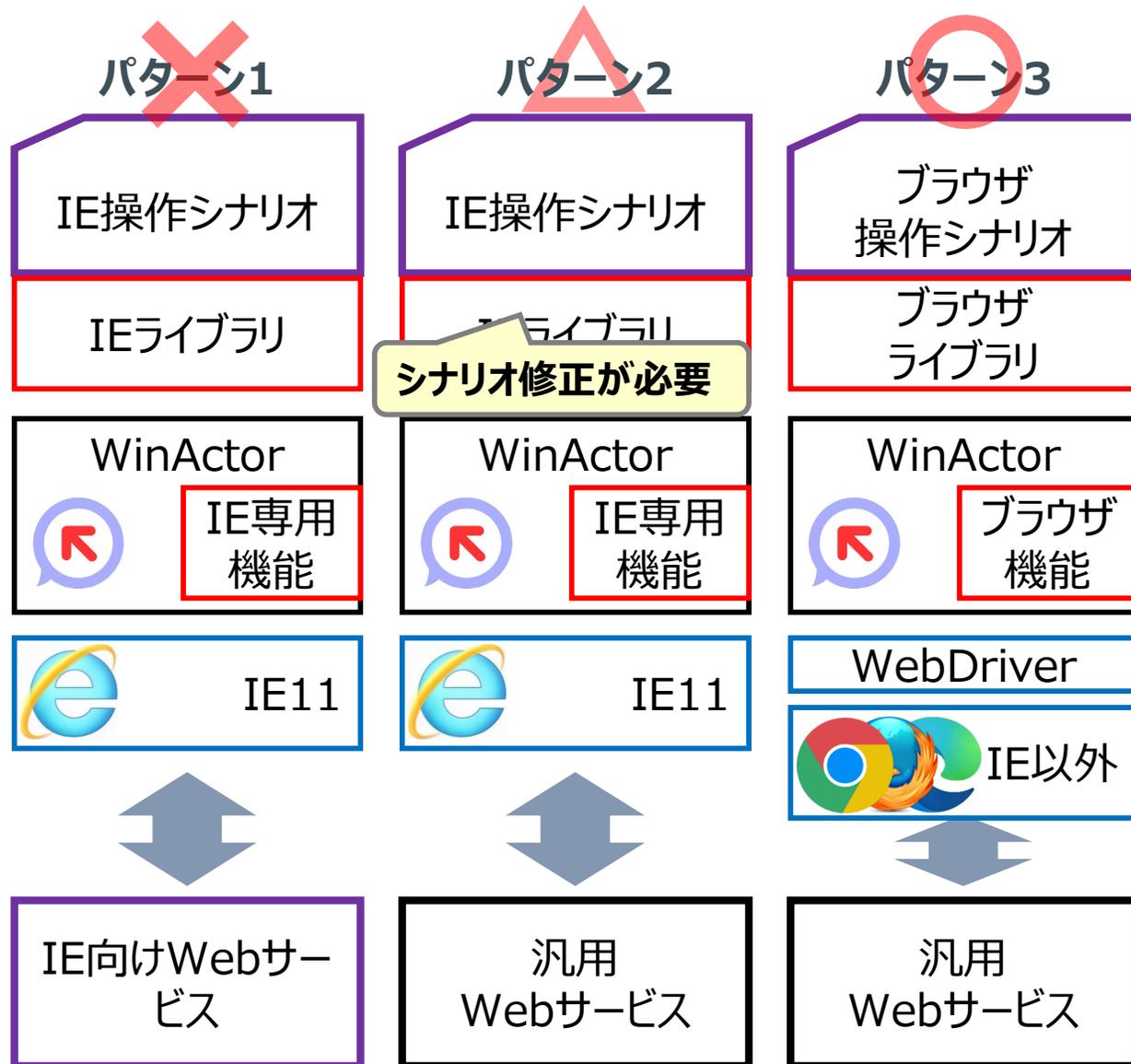
IE11を使用していないお客様は、対応の必要はありません。

WinActor を古くから、大量に導入頂いているお客様程、本件の影響が大きいと思われる。

IE11に何が起きるのか?/ どのような影響があるのか?

WinActorにおける
Webブラウザの使い方から、
パターン1, パターン2の割合が大きく
本件の影響が大きいと思われる。

パターン1, パターン2のお客様の救済に
全力を尽くします



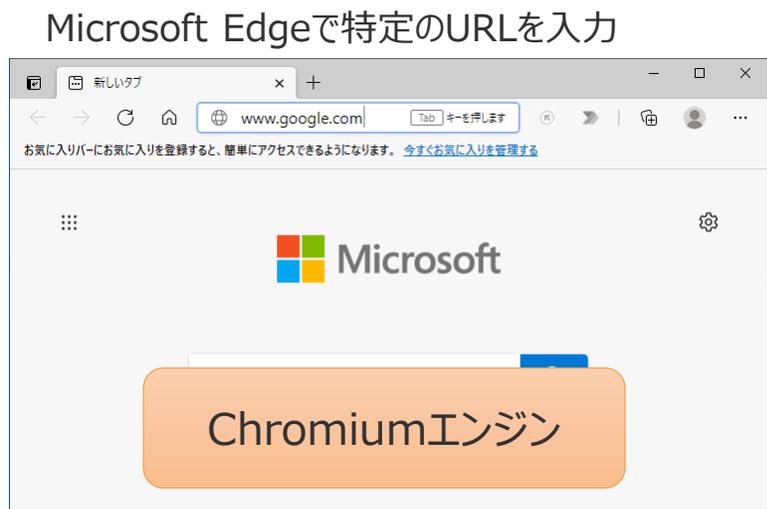
具体的にどうする? --- IEモードの解説

Microsoft EdgeはChromiumエンジンで動作するため、IEとは互換性がありません。

しかしながら、あらかじめ設定したURLを入力するとIE11と同じMSHTMLエンジンを使用する「**IEモード**」に切り替わります。

IEモードには、独立したIEウィンドウを表示するモードと、Edgeのウィンドウ内に表示されるモードがあります。

WinActor はIEモードを用いて、既存のIE関連シナリオの実行をサポートします。



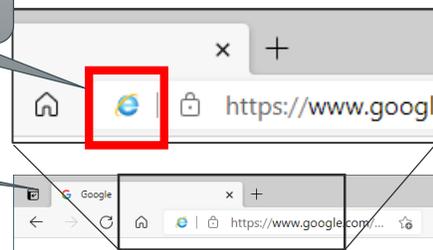
独立したIEウィンドウで表示

IE11ウィンドウ



IEモードを表すアイコン

Edgeウィンドウ



Edgeのウィンドウ内に表示



IEモードの対応状況と予定

WinActor Ver.7.2.1 は、IEウィンドウを使用するIEモードでのみ、IE関連機能のほぼ全てを使用する事ができます。

但し、既存ライブラリではIEモードの起動はできないので、IEモードの起動処理は別途作成する必要があります。

WinActor Ver.7.3 では、これら全ての問題を解決し、全てのIEモードで、IEモードの起動処理を含む IE関連機能の全てを実行可能にします。

WinActor の IE関連機能	WinActor Ver.7.2.1 (現状の最新版)	WinActor Ver.7.3 (2021.11出荷予定)
自動記録 (IE対応) • IEでの操作内容を記録して、ノードを自動生成する	IEウィンドウ表示時のみ動作	IEウィンドウ表示時・Edgeウィンドウ表示時に動作
IE関連ライブラリ • (ライブラリ/04_自動記録アクション/クリック (IE)、ライブラリ/17_IE関連/IE操作 (URL指定) など)	IEウィンドウ表示時のみ動作 (IEモードの起動はできません)	IEウィンドウ表示時・Edgeウィンドウ表示時に動作

WinActor Ver.6 のIEモードへの対応について

WinActor Ver.7.3 の IEモード対応と並行して、WinActor Ver.6 の IEモード対応版の開発を行っています。WinActor Ver.7.3 の出荷後、IEモード対応の WinActor Ver.6 を出荷予定です。

2021年10月-11月頃: Microsoft Edge の IEモードに対応した WinActor Ver.7, WinActor Ver.6 を出荷予定

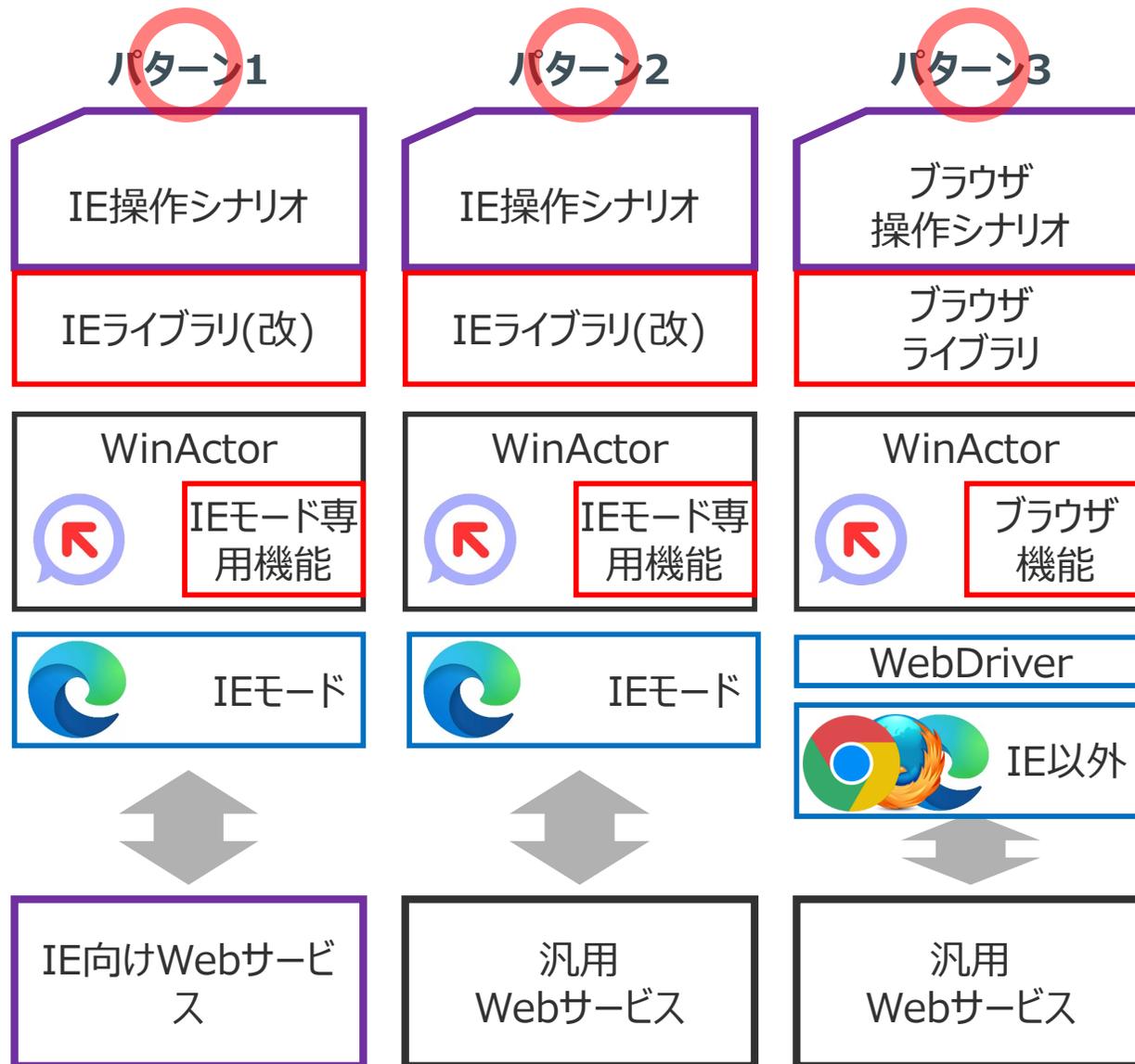
- 自動記録(IE対応)で、Edgeウィンドウ内表示に対応します。
- IE関連ライブラリで、Edgeウィンドウ内表示に対応します。また、IEモード起動のためのライブラリを提供します。

2021年11月以降、WinActor Ver.6 / Ver.7 において以下の対応を実施予定

- 既存IEライブラリを IEモードで使用できるように改修した版を提供します。
 - 主要なものに関してはWinActor Ver.7/Ver.6 出荷時に対応予定
- 上記改修したIEライブラリの既存シナリオへの取り込みを支援するツールを提供します。
 - プロパティで「バージョン情報」が確認できるライブラリにつきましては、「ファイル」→「エクスポート」からCSVに出力する機能の追加
 - 上記機能で出力したCSVファイルから、EdgeのIEモードを使用する際に修正が必要かどうかを調査するツールの提供
 - バージョン情報が確認できないライブラリへの対応方針は検討中です。

IEモードに対応すると

WinActorにおける
IE操作シナリオでの動作を可能とします。



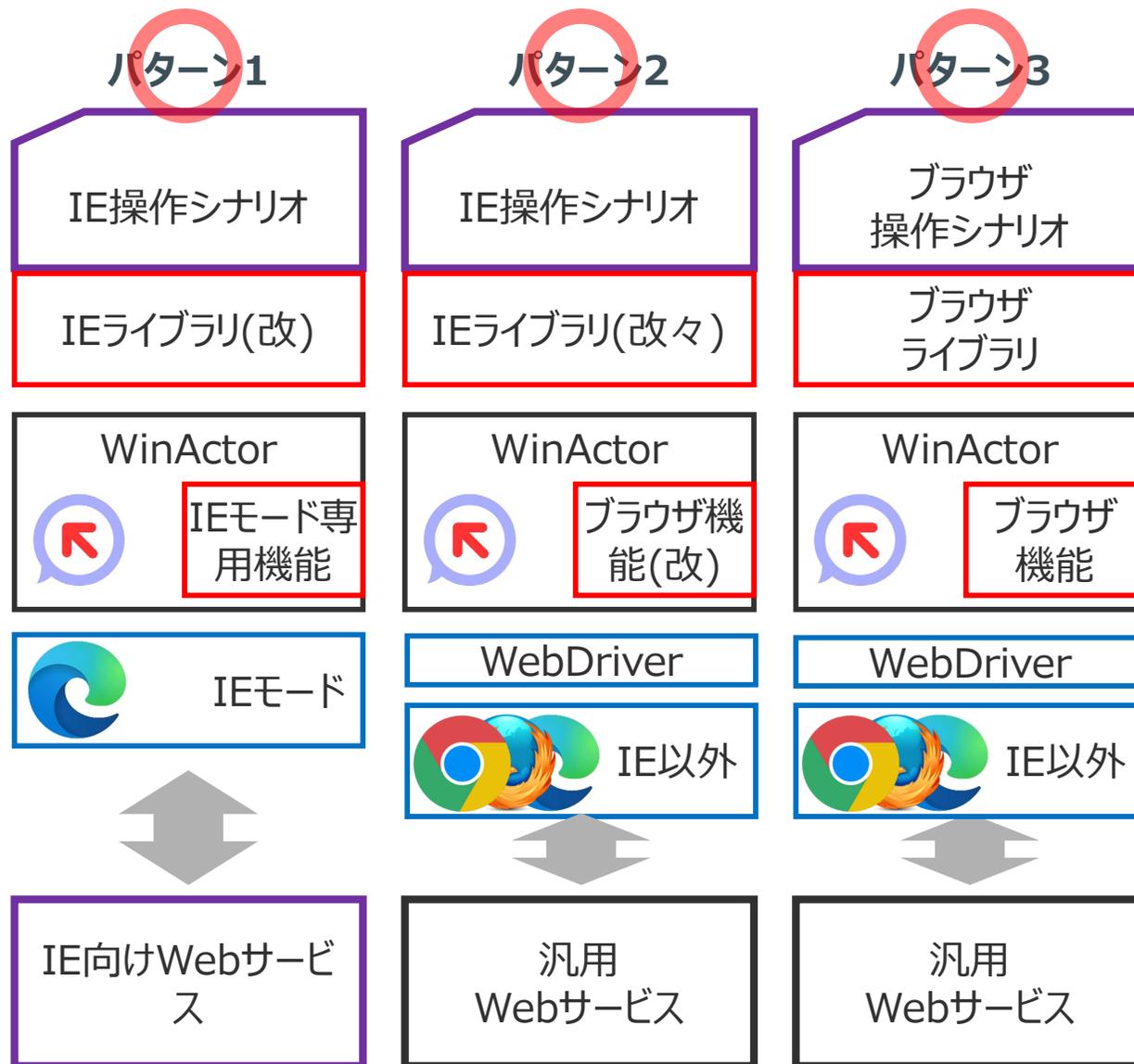
NTT-ATは、今まで IEを使ってきたお客様が、IEサポート終了後でも、これまで通り 既に作成した IE操作シナリオを使い続ける事が出来る様に、サポートを続けて参ります。

脱IEは世界的な流れであり、いつまでもIEを使用する事は得策ではないため...

NTT-ATは、今まで IEを使ってきたお客様が、最小限のコストで、IE以外のブラウザに移行できる様に、移行機能の検討を開始しました。

IE操作シナリオで、IE/IEモード以外のブラウザを操作可能にするための、ライブラリ・WinActorのブラウザ機能の実現を目指します。

WinActorも脱IEへ



※WinActor®はNTTアドバンステクノロジーの登録商標です。
※本資料内に記載されている会社名、ロゴ、商品名、またはサービス名は、
各社の商標または登録商標です。